レベチラセタム錠「フェルゼン」を服用される患者様とご家族の方へ

このお薬は、脳内の神経の過剰な興奮をしずめて、てんかんの発作を抑える目的で服用します。

このお薬は指示どおりに服用を続けることが重要です。自己判断で服用を中止したり、量を加減しないようにしましょう。

服用前にご確認ください

次の方はこのお薬を服用できませんので、必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- □ 過去に同じ成分（レベチラセタム）またはピロリドン誘導体（ピラセタム）を服用してアレルギーなどの過敏反応を経験したことがある方

次の方は、服用する前に医師または薬剤師にお伝えください。

- □ お薬によるアレルギー症状（かゆみ、発疹 等）の経験がある方
- □ 腎臓に障害がある または 血液透析を受けている方
- □ 肝臓に重い障害がある方
- □ 妊娠 または その可能性がある、もしくは授乳している方
- □ 現在、他のお薬を服用している方（薬局で買ったお薬も含む）

服用中にお気をつけください

- ご自身の判断で服用量を減らしたり、中止したりしないでください。
  てんかん発作が悪化したり、てんかん重積状態*が現れることがあります。
  服用を中止する場合、医師の指導のもとで少なくとも2週間以上かけて徐々に減量します。指示どおりに正しく服用することが大切です。

  *てんかん重積状態：てんかん発作をくり返し、なかなか回復しない状態

- のみ忘れても、決して一度に2回分を服用しないでください。

裏面もご覧ください。

服用中にお気をつけください（つづき）

- 眠気、注意力、集中力、反射運動能力などが低下することがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作をしないようにしてください。
- 次の症状が現れることがありますので、医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。そして 症状が現れた場合には医師にご相談ください。（ご家族等にも気分の変化などをお話ください）

・ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す
・意識が乱れる　・考えがまとまらない
・いらいらする　・あせる
・興奮しやすい　・攻撃的になる
・死にたいという気持ちになる

- ご家族の方は患者さんの状態を観察して、変化がみられた場合には医師にご連絡ください。
- 妊婦または妊娠の可能性がある方は医師にご相談ください。
- 授乳中の人は授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合、薬局などで他のお薬を購入する場合は、このお薬を服用していることを必ず医師または薬剤師にお伝えください。

その他のご注意

- お子様の手の届かない場所に保管してください。（高温、多湿、直射日光を避ける）
- このお薬はあなたご自身用ですので、絶対に他の人に渡さないでください。
- 服用するときは、コップ一杯程度の水 または ぬるま湯 でのんでください。

これらのほかにも、何か分からないことや 気になること などがありましたら、医師 または 薬剤師 にご相談ください。

株式会社フェルゼンファーマ
FELDSENF PHARMA

2024年3月作成
2SAC-2-030